

第1回防災教育チャレンジプラン 「わくわく！ドキドキ！サバイバル体験！」実施要項

[目的]

東海地震などへの警戒が高まる中、個人や家族、地域でできる対策を講じておくことが急務な課題となっています。しかし、各種防災講演会や防災訓練、広報誌やマスコミ情報のいずれを見ても、「大人の視点」が多く、「子どもの視点」に立った防災対策が必要です。そこで、地域に住む子どもたちが、緊急時に対する適切な対処方法を学ぶ機会を企画しました。また、防災というとにかく固い「訓練」というイメージがありますが、子どもたちが自ら考えたり、行動する参加型に内容を特化して、楽しく、そして災害に負けない、たくましい地域の担い手を、地域をあげて育むことを目的とします。

[日時] 2004年8月3日（火）～4日（水）一泊二日 ※雨天決行

[場所] 名古屋市立東山小学校体育館・グランド

[参加]

- ・ 東山学区内に住む小学生高学年 100 名公募
- ・ その保護者や PTA・学校関係者 50 名
- ・ 学区役員など 20 名
- ・ 協力団体、NPO スタッフなど 30 名 合計 200 名規模

[主催] 東山学区連絡協議会

[協力] 名古屋市立東山小学校、東山学区自主防災連合会、東山学区防災安心まちづくり委員会
東山消防団、東山小学校 PTA、ビバ東山っ子委員会

[企画・運営] 特定非営利活動法人レスキューストックヤード

[内容]

※1 日目

13:00～13:30	受付・グループ確認（10 名×10 グループ）
13:30～14:00	ガイダンス・スタッフ紹介
14:00～16:00	非常持ち出し袋を考えよう！ ※ 参加者はこの体験に必要なだと思うものを各自で持参していただきます。 グループごとにそれぞれ中身をチェックし、過不足を話し合いながら「理想の非常持ち出し袋」を全体で考えます。
16:00～19:00	炊き出し体験 ※ ライフラインが停止した中、まきとプロパンガスを火元にして、ごはん と味噌汁、おかず（非常用缶詰）をグループで役割分担しながら 250 食 分の炊き出しを行う。 ※ あらかじめ地域の高齢者などを招待して、配膳までを行う。 ※ ほのぼのあかりを 100 個製作して夜に備える。
19:30～20:30	東山学区の歴史と地震の話 ※ 全体で加藤幹雄さんのお話を聞いた後、学区の役員がグループごとに張 り付き、地域の歴史（自然や建造物の変化）などを語りあう。 ※ 地域に点在する暗渠や危険箇所、社会資源などの写真を取り上げながら、 地震の概略を全体に説明する。
20:30～21:00	ほのぼのあかりの点灯で就寝の支度
21:00	就寝（寝袋など持参、その他希望により毛布支給）

※2 日目

6:30	ラジオ体操（それまでに起床し、健康チェックと身支度）
7:00～8:00	「かんぱんをおいしく食べよう会」の協力による朝食
8:30～10:20	自分の家の中は安全か？ ※ 各自自宅の見取り図を書き、家具や電化製品の配置、就寝している部屋の様子をグループで出し合い、どこが危険でどんな対策が必要か。また、地震がきたらどうすればいいかななどを話し合う。 ※ PTA による家具転倒防止をテーマとした寸劇 ※ 耐震体験装置「ぶるる君」の実験
10:30～11:30	ふりかえりとまとめ ※ 2 日間の感想をグループで話し合い、「今日からできる地震対策」をグループごとに宣言します。
11:30～12:00	後片付け・解散

[予算]

費目	項目	数量	単価	合計
消耗品費	炊き出し食材	200	¥250	¥50,000
消耗品費	非常用缶詰・かんぱんなど	200	¥350	¥70,000
消耗品費	お茶・飲料水・おやつ	適量	—	¥19,200
消耗品費	ほのぼのあかり材料費	一式	—	¥10,000
消耗品費	文具（模造紙・マジックなど）	一式	—	¥30,000
レンタル費	毛布レンタル	200	¥250	¥50,000
印刷製本費	チラシ作成・印刷費	2,000	¥10	¥20,000
保険代	ボランティア行事保険	200	¥254	¥50,800
サポーター謝金	サポーター謝金	10	¥10,000	¥100,000
合計（※サポート費用は¥300,000）				¥400,000

[当日までのスケジュール]

●実行委員会（学区関係者、学校関係者、NPO・ボランティアなど）

月日	内容
5 月 18 日（火） 16:00～17:00	第 1 回実行委員会 ・実施要項確認、学区内周知・参加者の募集方法、当日までの日程確認
6 月 10 日（木） 16:30～17:30	第 2 回実行委員会 ・募集チラシの配布、実行委員の役割分担、当日の企画内容調整
7 月 15 日（木） 16:30～17:30	第 3 回実行委員会 ・参加者の決定、当日の役割分担

●スタッフ会議（NPO・ボランティアなど）

7 月上旬	第 1 回スタッフ会議（NPO など） ・プログラム毎の進行調整、スタッフの役割分担
7 月下旬	第 2 回スタッフ会議 ・プログラム印刷、最終確認

●実行委員会・スタッフ合同

月日	内容
8 月 2 日	準備、資機材・備品の搬入
8 月中旬	実行委員・スタッフ合同反省会